

<10月20日は頭髪の日>薄毛に関する意識調査 2022

薄毛が気になりだした年齢は、男性は37.9歳、女性は41.1歳

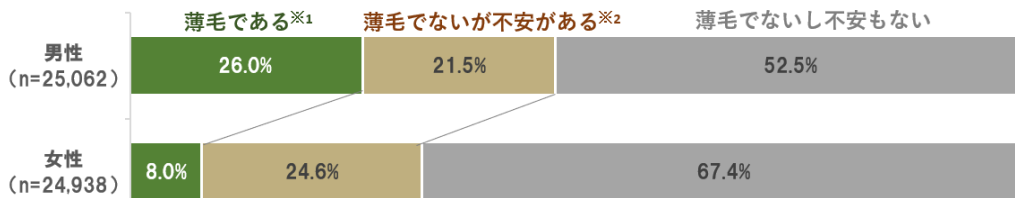
薄毛対策にかけてよいと思う金額が、最も高いのは20代男性の月間8,080円

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の美容に関する調査研究機関『ホットペッパービューティーアカデミー』（<https://hba.beauty.hotpepper.jp/>）は、「薄毛対策」への関心の高まりを受け、2016年より20～69歳の男女を対象に「薄毛に関する意識調査」を実施。10月20日の「頭髪の日」に先駆けて、2022年の結果を以下の通り発表いたします。

■薄毛の人と、薄毛ではないが不安がある人の出現率（単一回答）※スクリーニング調査

20～60代男性のうち、「薄毛である」人は4人に1人以上（26.0%）を占める。

一方、同年代女性では8.0%にとどまり、男性の「薄毛である」を18ポイント下回る。



※1：ご自身の体の状況について、現在あてはまるものをお答えください。→[薄毛である]

※2：あなたは今後や将来を考えた時、[薄毛である]ことについてどの程度不安に思っていますか。

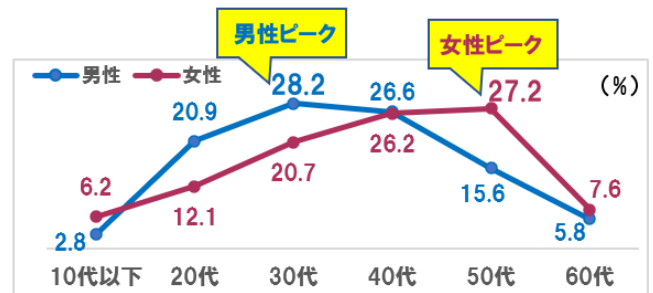
→[薄毛ではない]が薄毛に「とても不安」「やや不安」と回答した人

■薄毛が気になりだした年齢

(有効回答、実数回答)

	男性		女性	
	平均年齢	n数	平均年齢	n数
2020年	38.1歳	1,500	41.9歳	549
2021年	38.4歳	1,492	41.8歳	560
2022年	37.9歳	1,487	41.1歳	564

<2022年 年代別分布>



■薄毛対策にかけてよいと思う金額の上限

(1カ月あたりの金額、有効回答、実数回答)

年代別	男性		女性	
	n数	平均金額	n数	平均金額
全体	1,496	5,310円	565	3,655円
20代	111	8,080円	32	7,234円
30代	249	7,244円	75	3,813円
40代	414	5,171円	141	3,562円
50代	387	4,471円	145	3,063円
60代	335	4,097円	172	3,499円

<研究員からのコメント>



『ホットペッパービューティーアカデミー』
研究員 田中 公子

薄毛が気になりだした年齢の平均は男女ともに過去3年で最も低いです。また、気になりだした年齢は男性の方が若く、女性よりも早くから薄毛に対する危機意識を感じています。薄毛対策にかけてよいと思う金額が最も高いのは、20代男性で、薄毛になった後よりも「予防」に対する先行投資の方が高くなる傾向にあります。

3ページ目に触れていますが、支出の許容範囲が女性に比べて高額になる背景には、男性の薄毛対策として効果実感が高いものに、「病院」「専門クリニック」が上位に挙がっていることにも関係がありそうです。

■薄毛対策の効果実感あり率/効果実感までの期間

1位は男性が「薄毛の対策メニューがある美容室・理容室に行く」、女性が「ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く」。男性は2位以下も「薄毛治療・対策のできる病院や専門クリニックに行く」、「薄毛専門サロンに行く」、「ヘッドスパ・ヘッドマッサージに行く」など自宅外の施設での施術・治療が軒並みランクイン。対して、女性は2位から5位は自宅でのケアがランクインしている。

Q 薄毛対策を実施している方にお伺いします。

効果を実感するまでどのくらいの期間がかかりましたか。(各対策の実施者、各単一回答)

※「効果実感あり率」は「効果を実感していない」「分からない/複数対策していたので分からない」を除いた割合

※「効果実感までの期間」は、単一回答で聴取し、各カテゴリに重みをかけて加重平均値を算出

※ランキングはn < 30の項目を除いたトップ5

	男性			女性		
	N	効果実感あり率	効果実感までの期間	N	効果実感あり率	効果実感までの期間
1位	72	77.8%	3.4か月	82	46.3%	5.0か月
2位	167	71.3%	5.4か月	54	44.5%	3.3か月
3位	134	58.2%	6.4か月	36	41.6%	6.0か月
4位	117	58.1%	5.7か月	136	41.2%	3.8か月
5位	165	48.5%	9.7か月	38	31.5%	6.8か月

■理容室・美容室への相談意向

「薄毛が気になっていることを、今後、美容室・理容室で相談したいとどのくらい思いますか」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計は男性の約3割に対し、女性で4割超と、女性の方が高い。年代別には、20代の男性が70.6%と男女合わせて突出して高い。

Q.薄毛が気になっていることを、今後、美容室・理容室で相談したいとどのくらい思いますか(単一回答)

※「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計

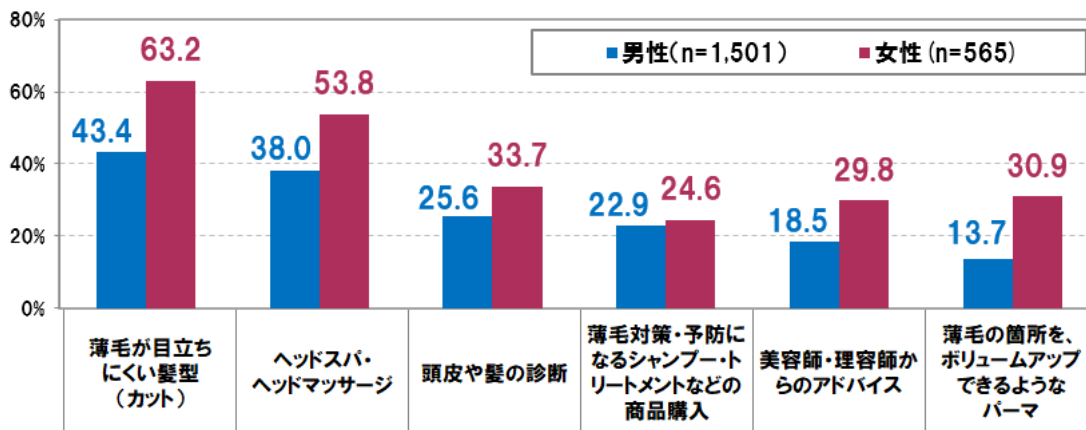
	男性		女性	
	割合	n数	割合	n数
全体	28.3%	1,501	44.9%	565
20代	70.6%	112	59.4%	32
30代	44.2%	251	54.0%	75
40代	31.2%	414	46.8%	141
50代	17.5%	388	41.7%	145
60代	11.1%	336	39.2%	172

■美容室・理容室でやってみたい薄毛対策と、かけてもよいと思う金額の上限

男女とも1位は「薄毛が目立ちにくい髪型（カット）」。カット以外の薄毛対策で、かけてもよいと思う金額が最も高いのは、「薄毛の箇所を、ボリュームアップできるようなパーマ」。

Q.薄毛対策として、美容室・理容室でぜひやってみたいことを教えてください（複数回答）

※男性スコアで降順ソート、「その他」「特にない」を除く



Q.薄毛対策として美容室・理容室でやってみたいことに対して、あなたはいくらくらいならかけてもよいと思いますか。かけてもよいと思う金額の上限をお聞かせください。

（それぞれの対策意向者 各単一回答）

	男性		女性	
	平均金額	n数	平均金額	n数
ヘッドスパ・ヘッドマッサージ	2,752円	570	2,938円	304
頭皮や髪の診断	2,541円	384	2,257円	191
薄毛対策・予防になるシャンプー・トリートメントなどの商品購入	3,352円	344	3,300円	139
薄毛の箇所を、ボリュームアップできるようなパーマ	4,247円	206	4,952円	175

研究員からのコメント

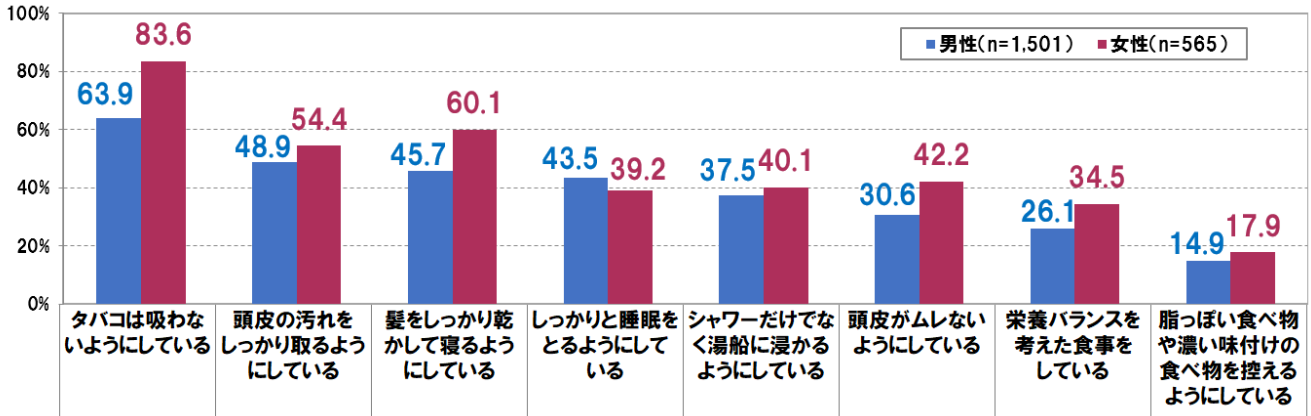
理容室、美容室への相談意向は、全体的に女性が高めですが、実は最も高いのは20代の男性。薄毛対策でかけてもよい金額も最も高く、理容室、美容室での提案ニーズは非常に高そうです。また、美容室・理容室でやってみたい薄毛対策は、「薄毛が目立ちにくい髪型（カット）」以外にも、「ヘッドスパ・ヘッドマッサージ」「頭皮や髪の診断」などが男女ともにニーズが高く、そのためには一定の支出が許容できているように思っています。薄毛の対策で理容室、美容室のメニュー提案に伸びしろは十分ありそうです。（『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子）

■ 普段の生活習慣への意識

男女ともトップは「タバコは吸わないようにしている」。ほとんどの項目で男性より女性のスコアが高く、生活習慣に対する意識に男女差があることがうかがえる。

Q. 普段の生活習慣に関する以下のことについて、あなたの行動や意識にどの程度あてはまりますか

(各項目単一回答) ※男性スコアで降順ソート



研究員からのコメント

今回調査した生活習慣は、薄毛の予防に関連するといわれる項目ですが、「しっかりと睡眠をとるようにしている」以外の項目は、全て女性が上回っています。もともと女性はヘアケアや美容のケア目的で実施していることが、結果として薄毛予防にもつながっているように感じます。男性は美容室・理容室等での対策に効果を高く感じているため、美容室・理容室でも施術以外の生活習慣を含めた総合的なアドバイスはさらに有効かもしれません。(『ホットペッパービューティーアカデミー』研究員 田中 公子)

■ 調査概要

調査名 : 薄毛に関する意識調査 2022

調査手法 : インターネットリサーチ

調査時期 :

スクリーニング調査 (2022年7月6日~2022年7月7日)

本調査 (2022年7月20日~2022年7月21日)

調査対象 : スクリーニング : 50,000人

※人口動態に基づき性年代を割付

本調査 : 2,066人 (全国20~69歳男女、現在薄毛がある、かつ薄毛を気にしている)

※スクリーニングでの出現率をもとにウェイトバックを実施

詳細はこちら : <https://hba.beauty.hotpepper.jp/search/trade/hair/42218/>

■ 『ホットペッパービューティーアカデミー』とは

美容に関する調査研究機関。「美容の未来のために、学びと調査・研究を」をビジョンに 2014 年に開校しました。美容サロンのマネジメントやマーケティングを学ぶ「経営セミナー」、美容センサスなどの「調査研究」、訪問美容・女性活躍・SDGs などの情報提供・イベント開催などをはじめとした「サステナビリティ活動」を柱に、全て無料で美容業界へ情報発信しています。これらの活動により、美容業界の成長に寄与する場の提供を目指しています。 <https://hba.beauty.hotpepper.jp/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>